

東北本線福島、白石、岩沼間複線化について

東北本線福島、白石、仙台間の複線電化促進については、多年にわたり市民各位の絶大なる御支援と御協力によつて早期実現のため、強力に運動を推進してまいりましたことは洵に感謝に堪えないところでございます。

御承知の通り電化については本年三月仙台まで完成し、上野～仙台間が開通となり、煙りのない快適な列車が運転され、スピードアップされましたことは洵に御同慶に存ずる次第であります。

然るに複線については、本年度より實施される国鉄の新五カ年計画によつて昭和四十年年度までに上野～好摩間（岩手県）が完成されることになりましたので、これが早期実現につき、国鉄当局始め関係当局に対し促進方について陳情、請願を推進してまいりました処去る十二日の鉄道建設審議会においては昭和三十四年十一月に再審議となつていた丸森線が建設線として直ちに着工することを決定されました丸森線（福島～槻木間）の建設は「東北本線の複線電化が進捗している現状にかんがみこれらとの関連について調査し更に本審議会の議を経るものとする」という理由で再審議を要するものとなつていたが、このたび審議会より関係各省に建議された答申は、建設線として直ちに着工することを認められたことにより、その是非は別としてこれが東北本線複線化の一線として考えられる場合においては、私ども沿線住民としては最も重大なる問題として検討を要する事態が生じたのであります。私どもが多年熱望して来た電化が完成しても將來単線としてローカル線の立場におかれるような事態に至つては百年の悔を残す結果ともなるのであります。

随つてこの問題について情報を承知した翌十三日は東京方面に議員代表を派遣するとともに、私は国鉄東北支社長を訪問し事情をお伺ひした結果、新聞報道の通り決議されたことが明らかになりました。

当市としては昨十四日市議会鉄道特別委員全員の協議会を開催し今後の対策を図ると共に同日更に沿線関係町長及び議長の緊急参集を求め、これが対策を協議いたしました結果、さきに予定してあつた通り来る二十二日午後二時より白石市公会堂において、このたびの電化開通を祝福するとともに、複線化促進のため、沿線複線電化期成同盟会（白石市、桑折町、国見町、大河原町、柴田町、村田町、川崎町、藏王町、七ヶ宿町をもつて構成）主催のもとに、国鉄関係、本県選出代議士及び関係各位を招待し、沿線一市八町の当局者、議員全員及びその他商工関係代表者等一同に会し、福島、白石、岩沼間の複線化總決起大会を開催して御協力を懇請することになりました。

市民各位に対し今回の事態については非常な御心配をお掛けしましたので一応右御報告申し上げますと共にわれわれは今後更に重大なる決意のもとにこの運動を展開し、所期の目的達成のために邁進する決意でありますから一層の御支援と御協力を切望して止まない次第であります。

昭和三十六年五月十五日

白石市長 麻生 寛 道

白石市民各位